

“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果！！

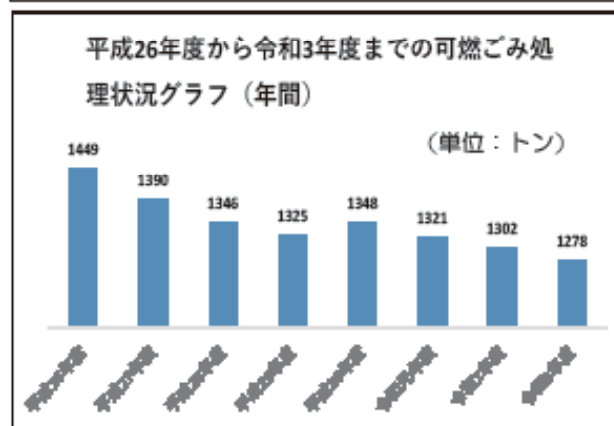
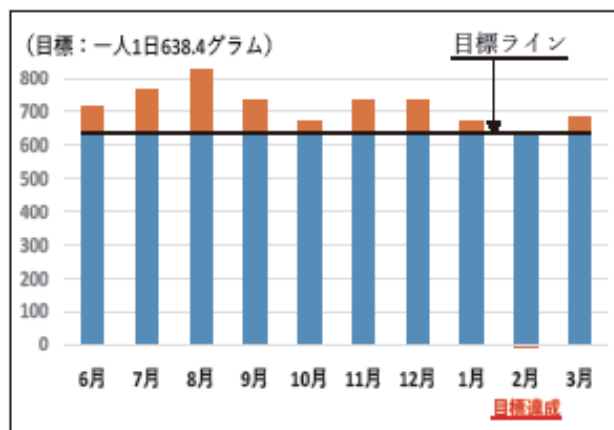
【目標：一人1日あたりの可燃ごみ量638.4gへの達成】

3月の「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果は下表のとおりです。2月分の目標達成から+44グラムと上がってしまいましたが、住民みなさんには、引き続き生ごみの水切り、資源になる紙くずは可燃ではなく資源として出すなどを徹底していただき、可燃ごみの減量化にご協力ください。

月	1人1日あたりの可燃 ごみ量（結果）（グラム）	目標との差 （グラム）
7月分	763.8	+125.4
8月分	831.3	+192.9
9月分	733.0	+94.6
10月分	673.8	+35.4
11月分	733.8	+95.4
12月分	736.2	+97.8
1月分	671.7	+33.3
2月分	603.9	-34.5
3月分	682.4	+44.0

—可燃ごみの処理状況グラフ—

右のグラフは、令和3年度分を含む過去8年間分の可燃ごみ年間処理状況をグラフにしたものです。平成26年度と令和3年度では171トン程度の減少となっています。このような状況ではありますが、住民みなさんには、さらなるごみ減量にご協力をいただく目的で“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」としてごみの減量化をお願いしているところです。毎年度グラフが右肩下がりになりますよう、引き続きご協力をお願いいたします。



—“ごみを減らす10アクション”（3R：スリーアールへの取組）—

3R（スリーアール）とは、「Reduce：リデュース（ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと）」、「Reuse：リユース（くり返し使うこと）」、「Recycle：リサイクル（資源として再び利用すること）」の英語の頭文字Rを三つ合わせて3R（スリーアール）と呼びます。3Rは、循環型社会を実現するための、重要なキーワードです。ごみを減らす10アクションも、すべて3Rの内容にそったものです。

3Rのうち最も重要なRは、**リデュース**（ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと）です。

取組例は、多くの方が実践している「レジ袋有料化に伴い本格的に始まったマイバックの使用」です。

レジ袋1枚の重量は6.25グラム～10グラム、原油換算では1枚14.4グラムが必要、有料化前の国内のレジ袋使用枚数は年間約313億枚（国民一人当たり年間平均260枚）とのデータがあります。「ちりも積もれば山となる」のことわざもありますとおり、日々ちょっとした行動が、ごみの減量や限りある資源の消費減少につながります。住民みなさんのご協力をお願いします。

※お問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎83-2110